

有限会社大田オート SDGs宣言書



当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標 (SDGs) に賛同し、
持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

2024年12月13日
有限会社大田オート
代表取締役 森山 仁

◆経営方針

常に最適なサービスを提供し、だれもがゆとりと豊かさを感じることのできる社会の創造に貢献する。

◆目指す姿

- ・無理、無駄、ムラの無い環境づくり
- ・安心と安全を妨げない快適なクルマ社会の実現
- ・多様化する消費者意識、価値観へ対応する新たなモビリティ・サポートの創造
- ・地域の企業として、個人として地域の課題へ積極的に取り組む

SDGsの達成に向けた取り組み

持続可能なクルマ社会への対応

電気自動車 (EV) やハイブリッド車など、環境に配慮した車両の販売促進に努め、カーボンニュートラル実現に貢献します。

<具体的な取り組み>

環境に配慮した商品の拡販と意識向上の提案／使用済み車両、部品、油脂類のリユース、リサイクルの促進

— 関連ゴール —



安全で快適なモビリティの提供

最新の安全技術を搭載した車両の販売促進に努め、交通事故の減少と新たなモビリティ・サポートの推進に取り組めます。

<具体的な取り組み>

先進安全装置搭載車の拡販と技術指導／自動車を取り巻くリスクに備える保険の促進／地域の環境変化に対応した新たなモビリティ・サポートの推進

— 関連ゴール —



ゆとりと豊かさを感じる社会の創造

だれもが快適でストレスを感じないクルマ社会を送れるよう、最適なサービスの提供に取り組めます。

<具体的な取り組み>

価格高騰が続くクルマ社会への対応策としてリース、レンタカー、カーシェアリング等サービス強化と促進／地域の交通弱者救済への積極的な取り組み／多様化する消費者意識、価値観へ対応するサービスの提供

— 関連ゴール —



ワークライフバランスの充実

自社はもちろん取引先等への過重労働、サービス残業に関して社員全員の共通課題と認識し、一人ひとりの生活を軽視しないよう努めます。

<具体的な取り組み>

業務の効率化を進める／有給休暇取得の推進／既成概念にとらわれない雇用形態導入／社内研修の実施／子育て地域活動のバックアップ

— 関連ゴール —



SDGsとは

2015年に国連で採択された「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称。
2030年までに持続可能なより良い社会を実現するために取り組むべき17のゴール、169のターゲットが掲げられている。

